

九州大学

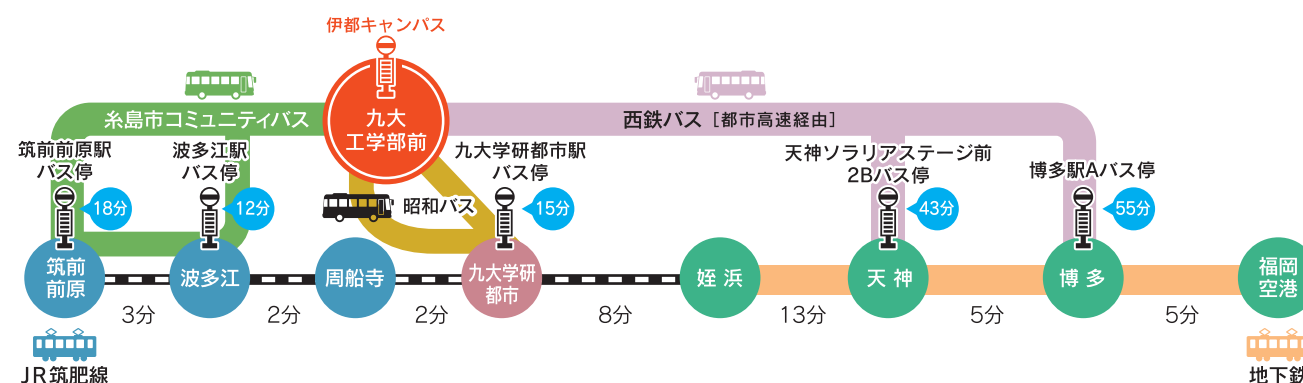
2021

大学院工学研究院・大学院工学府・工学部

アクセスマップ



交通アクセス



お問い合わせ
 九州大学 大学院工学研究院・大学院工学府・工学部
 〒819-0395 福岡市西区元岡744
 TEL 092-802-2708 FAX 092-802-2712



<http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>

編集・発行 九州大学 大学院工学研究院・大学院工学府・工学部
 印刷・制作 株式会社ミドリ印刷

CONTENTS

挨拶	01
組織運営体制	03
教育・研究組織	04
組織紹介	05
教職員数・学生数	07
学位授与状況・進路状況	08
国際交流	09
財務状況	10
沿革	11
キャンパスマップ	13
アクセスマップ	裏表紙

FUKUOKA
JAPAN

令和3年5月1日現在



九州大学大学院工学研究院長・大学院工学府長・工学部長

園田 佳巨

昨年から続く新型コロナウイルスによるパンデミックで、我々を取り巻く世の中の生活様式は一変してしまいました。幸いなことに、令和3年度の入学式は無事に開催することができ、春学期の講義もオンライン授業を併用しながら、対面講義の機会も増えてきました。しかし、このパンデミックの影響は、少なくとも今年度中には終息しそうにありません。学生諸君や教職員の皆さんには大変な苦労をおかけしますが、常日頃の感染症対策を励行いただき、自らを守るとともに、周囲の方への感染リスクも低減させるようお願い致します。

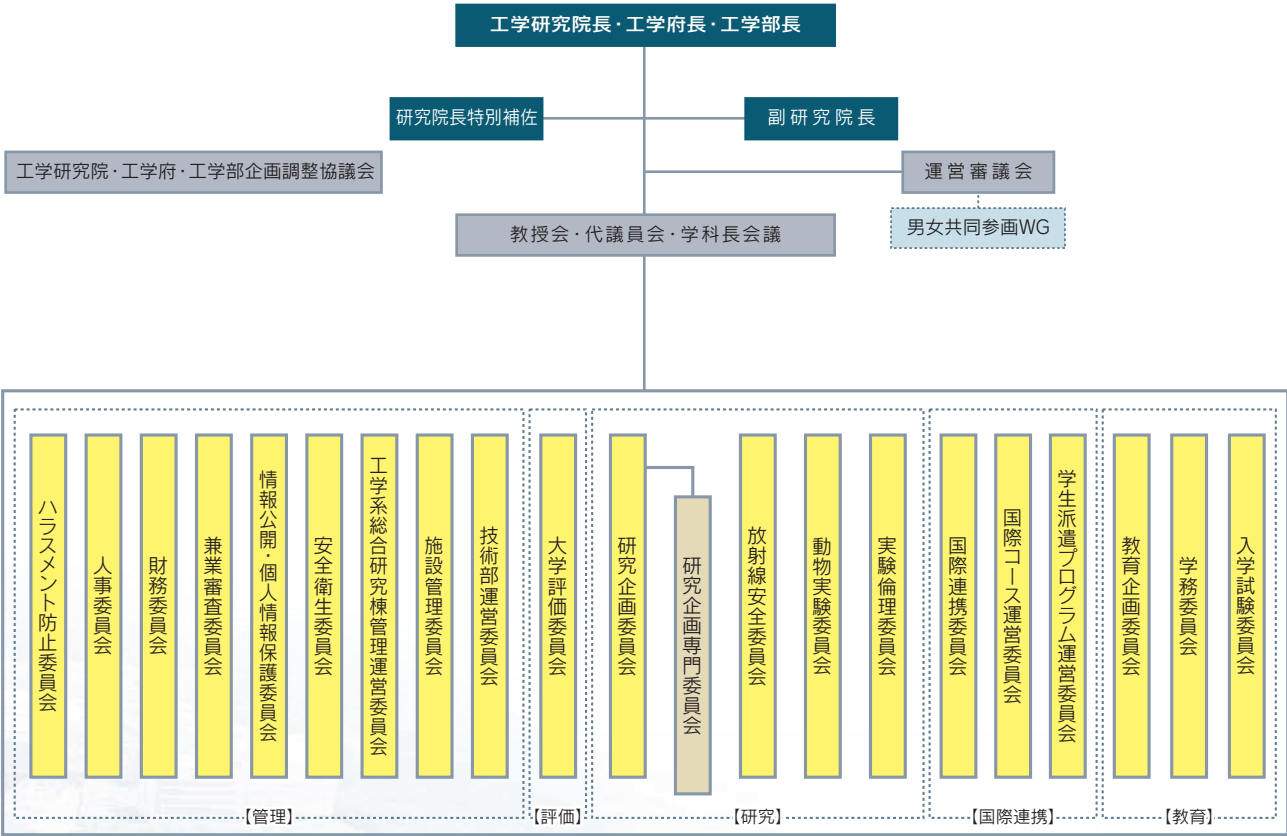
ところで、令和3年度から九州大学工学部と大学院工学府は新しく生まれ変わりました。工学部は、従来の大学科・コース制を改め、専門分野が明確な12学科へと改編しました。今年の1年生は、新制度における第1期生となりますが、入学時に学科が確定している総合型選抜による学生、2年進級時に専門分野につながる学科群を選択する第Ⅵ群学生、第Ⅰ群～第Ⅴ群を選択して入学してきた学生で構成されています。新1年生は、入学後1年間は学部共通教育を受けますが、2年夏学期終了後に全学生の所属学科が確定します。また、新たに設置された融合基礎工学科には、九州地域の国立9高専から20名の学生が編入してくることになります。今回の改編において、今後の高度情報化社会に対応できる人材を育成するため、全学科で情報系教育を強化しました。また、全学部・専攻で学部と大学院修士課程を連携させた6年一貫型カリキュラムに移行させ、大学院で他分野科目を必修化することで、広い視野を持つ学生の育成を心がけました。将来、今回の改編によって「九州大学工学部の卒業生は多彩な人材で溢れている」と学外から評価していただける日が来ることを期待しています。

現在、通常のカリキュラムとは別に、北米や豪州への工学部生・工学府生向けの学生派遣・研修プログラムを独自に実施しています。残念ながら、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で学生を派遣することはできませんでしたが、状況が改善されたら再開したいと考えております。また、工学部には海外の高校から進学してくる学士課程国際コースも設置されており、学部生の時から留学生と交流できる環境が整っております。大学で異なる文化に触れることを期待している高校生の皆さんには、その希望が叶う九州大学工学部で学ぶことをお勧めします。

九州大学工学部は、1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として創立され、日本で有数の長い歴史を有しています。その後、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至りますが、これまでに50,000名を超える卒業生を送り出し、我が国の工学・技術・産業の発展に貢献してきました。九州大学工学部の卒業生は、国内の様々な企業で技術開発の中心的役割を担い、国内外の産業界から非常に高い評価を受けています。今後も、我々の基礎教育重視の姿勢は変わりませんが、それと同時に、国際的に活躍できるグローバル人材、世界をリードできる高度な技術者・研究者の育成に努めて参りたいと考えております。

九州大学伊都キャンパスは、日本で最大規模の広さと世界最先端の設備を完備した、世界でも有数の大学施設です。工学部・工学府・工学研究院は、この恵まれた施設を最大限に活用し、世界に誇れる教育・研究を行って参ります。産業界の方々、行政の皆様、保護者・卒業生そして市民の皆様にも、私共の精神に共感いただき、ご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

運営組織



組織運営体制

執行部、部門長、専攻長、学科長等

令和3年5月1日現在

執行部		
研究院長／学府長／学部長	園田 佳巨	
副研究院長(総務担当)	山本 元司	
副研究院長(研究担当)	中島 邦彦	
副研究院長(教育担当)	岸田 昌浩	
副研究院長(国際担当)	松村 晶	

工学研究院		
化学工学部門長	三浦 佳子	
応用化学部門長	安達千波矢	
材料工学部門長	土山 聡宏	
社会基盤部門長	三谷 泰浩	
環境社会部門長	久場 隆広	

海洋システム工学部門長	安東 潤
地球資源システム工学部門長	藤光 康宏
エネルギー量子工学部門長	池田 伸夫
機械工学部門長	黒河 周平
航空宇宙工学部門長	高橋 厚史

工学府(新専攻)		
材料工学専攻長	土山 聡宏	
応用化学専攻長	君塚 信夫	
化学工学専攻長	三浦 佳子	
機械工学専攻長	山西 陽子	
水素エネルギーシステム専攻長	伊藤 衡平	
航空宇宙工学専攻長	安倍 賢一	
量子物理学専攻長	池田 伸夫	
船舶海洋工学専攻長	宇都宮智昭	
地球資源システム工学専攻長	藤光 康宏	
共同資源工学専攻長	今井 亮	
土木工学専攻長	久場 隆広	

工学府(旧専攻)		
物質創造工学専攻長	君塚 信夫	
物質プロセス工学専攻長	岸田 昌浩	
材料物性工学専攻長	土山 聡宏	
化学システム工学専攻長	三浦 佳子	
建設システム工学専攻長	三谷 泰浩	
都市環境システム工学専攻長	久場 隆広	
海洋システム工学専攻長	宇都宮智昭	
地球資源システム工学専攻長	藤光 康宏	
エネルギー量子工学専攻長	池田 伸夫	

工学部(新学科)		
電気情報工学科長	鶴林 尚靖	
材料工学科長	土山 聡宏	
応用化学科長	安達千波矢	
化学工学科長	三浦 佳子	
融合基礎工学科長	渡辺 幸信	
機械工学科長	森上 修	
航空宇宙工学科長	高橋 厚史	
量子物理学科長	池田 伸夫	
船舶海洋工学科長	柳原 大輔	
地球資源システム工学科長	藤光 康宏	
土木工学科長	久場 隆広	
建築学科長	山口謙太郎	

工学部(旧学科)		
建築学科長	山口謙太郎	
電気情報工学科長	鶴林 尚靖	
電気情報工学コース長	金谷 晴一	
物質科学工学科長	後藤 雅宏	
化学プロセス・生命工学コース長	三浦 佳子	
応用化学コース長	安達千波矢	
材料科学工学コース長	土山 聡宏	
地球環境工学科長	久場 隆広	
建設都市工学コース長	久場 隆広	
船舶海洋システム工学コース長	柳原 大輔	
地球システム工学コース長	藤光 康宏	
エネルギー科学科長	守田 幸路	
機械航空工学科長	森上 修	
機械工学コース長	森上 修	
航空宇宙工学コース長	高橋 厚史	

学科群		
I 群長	鶴林 尚靖	
II 群長	後藤 雅宏	
III 群長	森上 修	
IV 群長	三谷 泰浩	
V 群長	山口謙太郎	
VI 群長	寺西 亮	

附属施設		
工学研究院附属環境工学研究教育センター長	島岡 隆行	
工学研究院附属アジア防災研究センター長	塚原 健一	
工学研究院附属国際教育支援センター長	陳 強	
工学府附属ものづくり工学教育研究センター長	尾崎由紀子	
工学研究院附属小分子エネルギーセンター	小江 誠司	
工学研究院附属次世代蓄エネルギーデバイス研究センター長	石原 達己	

学内共同教育研究センター		
超顕微解析研究センター長	松村 晶	
西部地区自然災害資料センター長	塚原 健一	
未来化学創造センター長	神谷 典穂	
鉄鋼リサーチセンター長	中島 邦彦	
分子システム科学センター長	君塚 信夫	
医用生体工学研究センター長	工藤 奨	
分子システムデバイス産学連携教育研究センター長	安達千波矢	
水素エネルギー国際研究センター長	佐々木一成	
次世代燃料電池産学連携研究センター長	佐々木一成	
水素材料先端科学センター長	杉村 丈一	
都市研究センター長	馬奈木俊介	
最先端有機光エレクトロニクス研究センター長	安達千波矢	
次世代接着技術研究センター長	田中 敬二	

先導的研究センター		
次世代経皮吸収研究センター長	後藤 雅宏	

工学部等事務部		
事務部長	住田 憲紀	
総務課長	山下 和成	
学術研究支援課長	平尾 秀文	
経理課長	山本 泰康	
教務課長	瀬戸 雄	

工学部技術部		
部長	園田 佳巨	
次長	山本 元司	
次長	住田 憲紀	
次長	生田 竜也	
製作技術室長	平川 裕一	
設備・情報技術室長	森谷 晋	
計測・分析技術室長	高尾 隆之	

教育・研究組織

大学院工学研究院(研究組織)

材料工学部門
応用化学部門
化学工学部門
機械工学部門
航空宇宙工学部門
エネルギー量子工学部門
海洋システム工学部門
地球資源システム工学部門
社会基盤部門
環境社会部門

共同研究部門
海域港湾環境防災共同研究部門

大学院工学府(教育組織)

材料工学専攻
応用化学専攻
化学工学専攻
機械工学専攻
水素エネルギーシステム工学専攻
航空宇宙工学専攻
量子物理学専攻
船舶海洋工学専攻
地球資源システム工学専攻
共同資源工学専攻
土木工学専攻

工学部（教育研究組織）

群	学科
I 群	電気情報工学科
II 群	材料工学科 応用化学科 化学工学科 融合基礎工学科（物質材料コース）
III 群	融合基礎工学科（機械電気コース） 機械工学科 航空宇宙工学科 量子物理学工学科
IV 群	船舶海洋工学科 地球資源システム工学科 土木工学科
V 群	建築学科
VI 群	—

大学院附属施設・関連施設	
工学研究院附属施設	環境工学研究教育センター アジア防災研究センター 国際教育支援センター 小分子エネルギーセンター 評価広報室 次世代蓄エネルギーデバイス研究センター
工学府附属教育研究施設	ものづくり工学教育研究センター 国際推進室 ※工学部にも設置
工学研究院関連施設	九重地熱・火山研究観測ステーション
学内共同教育研究センター	超顕微解析研究センター 西部地区自然災害資料センター 未来化学創造センター 鉄鋼リサーチセンター 分子システム科学センター 医用生体工学研究センター 分子システムデバイス産学連携教育研究センター 水素エネルギー国際研究センター 次世代燃料電池産学連携研究センター 水素材料先端科学研究センター 都市研究センター 最先端有機光エレクトロニクス研究センター 次世代接着技術研究センター
先導的研究センター	次世代経皮吸収研究センター

工学部等事務部		工学部技術部	
総務課	庶務係 人事係 職員係	製作技術室	設計・加工班 機器製作班 電気電子設計製作班
	学術研究支援課 研究契約支援係		
経理課	経理第一係 経理第二係 用度第一係 用度第二係	設備・情報技術室	大型設備管理班 情報ネットワーク班 情報システム開発班
教務課	教務係 国際化・留学生係 学生支援係 統合新領域係		計測・分析技術室 構造・材料力学班 観測・解析班 材料・化学分析班 ナノ・マイクロ領域技術班
施設部施設管理課	工学系保全係		
部門事務室			

組織紹介

大学院工学研究院		
材料工学部門	冶金物理化学講座	反応制御学 材料電気化学 融体物理化学
	構造用金属科学講座	材料複合工学 結晶塑性学 構造材料工学
	機能材料科学講座	ナノ材料組織解析学 半導体工学 先端機能材料工学 粉体・粉末冶金工学 エネルギー材料工学 薄膜工学
	(連携講座) 先端ナノ材料工学講座	
応用化学部門	機能物質化学講座	応用無機化学 有機機能分子化学 機能材料科学 機能物質工学 応用分析化学 有機光エレクトロニクス 化学環境工学
	分子生命工学講座	人工酵素化学 バイオミメティクス 分子システム化学 分子情報システム バイオプロセス化学 生体分子システム
	(連携講座) 先端ナノ材料工学講座	
化学工学部門	分子・生物システム工学講座	分子物理化学 反応プロセス工学 生物化学工学 生体材料・医用工学 生体機能材料工学
	生産システム工学講座	熱プロセス工学 流体プロセス工学 物質移動工学 プロセスシステム工学
機械工学部門	材料力学講座	固体力学 構造材料評価
	流体工学講座	流体制御 流体科学
	熱工学講座	熱エネルギー変換工学 熱流体物理 熱物理工学
	燃料科学講座	反応性ガスカ学 エンジンシステム
	力学システム講座	機械波動音響学 機械波動学 構造動力学
	制御システム講座	システム工学 制御工学 ヒューマンセンタードロボティクス
	加工プロセス講座	精密加工学 材料加工学
	設計工学講座	設計工学 トライボロジー
	生体工学講座	熱物質移動 生体機能工学 先端医療デバイス 流体医工学
	水素利用工学講座	水素利用プロセス 燃料電池システム 水素貯蔵システム 水素機能材料学
	(寄附講座) 医工連携・健康長寿学講座	

大学院工学府		
材料工学専攻	冶金物理化学講座	反応制御学 材料電気化学 融体物理化学
	構造用金属科学講座	材料複合工学 結晶塑性学 構造材料工学
	機能材料科学講座	ナノ材料組織解析学 半導体工学 先端機能材料工学 粉体・粉末冶金工学 エネルギー材料工学 薄膜工学
	(連携講座) 先端ナノ材料工学講座	
応用化学専攻	機能物質化学講座	応用無機化学 有機機能分子化学 高分子物性学 機能性無機材料学 応用分析化学 有機光エレクトロニクス 化学環境工学 複合分子システム 反応・物性理論
	分子生命工学講座	人工酵素化学 バイオミメティクス 分子システム化学 分子情報システム バイオプロセス化学 生体分子システム 医用生物物理化学 バイオマテリアル カーボンニュートラル化学 ナノ構造化学
	未来化学創造センター	
	(特定教育研究講座) 先端エレクトロニクス材料講座 先端有機材料化学 (連携講座) 先端ナノ材料工学講座	
化学工学専攻	分子・生物システム工学講座	分子物理化学 反応プロセス工学 生物化学工学 生体材料・医用工学 生体機能材料工学
	生産システム工学講座	熱プロセス工学 流体プロセス工学 物質移動工学 プロセスシステム工学
機械工学専攻	材料・設計システム講座	固体力学 設計工学 構造材料評価 水素適合材料・破壊学 マイクロメカニクス
	流体工学講座	流体制御 流体科学
	熱工学講座	熱エネルギー変換工学 反応性ガスカ学 エンジンシステム 熱物理工学 熱エネルギー有効利用科学
	機械力学講座	機械波動音響学 機械波動学 構造動力学
	制御システム講座	システム工学 制御工学 ヒューマンセンタードロボティクス
	加工プロセス講座	精密加工学 材料加工学
	生体工学講座	熱物質移動 生体機能工学 先端医療デバイス 流体医工学
水素エネルギーシステム専攻	水素利用システム講座	水素利用プロセス 燃料電池システム 水素製造システム 先進水素システム
	水素貯蔵システム講座	水素貯蔵システム
	水素材料・設計学講座	トライボロジー 固体力学 水素機能材料学
	水素熱流体工学講座	熱流体物理 反応性ガスカ学

大学院工学研究院		
航空宇宙工学部門	航空宇宙熱・流体力学講座	推進工学 流体力学 熱工学・応用物理学
	航空宇宙機構造強度講座	軽構造システム工学 航空宇宙材料工学
	航空ダイナミクス講座	誘導・制御工学 飛行力学
	宇宙システム工学講座	宇宙機ダイナミクス 宇宙輸送システム工学
エネルギー量子工学部門	(連携講座) 航空技術連携講座	
	原子核・量子線工学講座	応用原子核物理・電磁解析 量子線物理計測
	核エネルギーシステム学講座	原子力エネルギーシステム 原子炉物理及び核融合理工学
	エネルギー物質科学講座	放射線物性工学 エネルギー創生材料学
海洋システム工学部門	応用物理学講座	物性物理学 応用物理学 量子計算科学
	船舶海洋性能工学講座	船舶海洋流体工学 船舶海洋運動制御工学
	船舶海洋構造工学講座	構造システム工学 生産システム工学
	海洋システム設計学講座	船舶設計・海洋環境情報学 機能システム工学 海洋エネルギー資源工学
地球資源システム工学部門	(寄附講座) 造船中核人材育成講座 船舶海洋人材育成講座	構造動力学 システム計画学
	地球工学講座	応用地質学 物理探査学 地球熱システム学
	資源システム工学講座	資源開発工学 岩盤・開発機械システム工学 資源処理・環境修復工学
	エネルギー資源工学講座	エネルギー資源工学
(特定教育研究講座) 国際連携資源フロンティア教育講座		
社会基盤部門	構造および地震工学講座	構造解析学 地震工学
	建設設計材料工学講座	建設設計工学 建設材料システム工学
	地盤学講座	地盤工学 地圏環境システム工学 防災地盤工学
	環境社会部門	都市システム学講座
	都市システム学講座	都市・交通工学 国土政策・防災学 景観学
	水圏持続学講座	環境流体力学 流域システム工学 沿岸海洋工学 生態工学
	水・資源循環システム学講座	都市環境工学 資源循環・廃棄物工学 水圏環境工学
共同研究部門	海域港湾環境防災共同研究部門	

大学院工学府		
航空宇宙工学専攻	航空宇宙熱・流体力学講座	推進工学 流体力学 熱工学・応用物理学
	航空宇宙機構造強度講座	軽構造システム工学 航空宇宙材料工学
	航空ダイナミクス講座	誘導・制御工学 飛行力学
	宇宙システム工学講座	宇宙機ダイナミクス 宇宙輸送システム工学
量子物理学専攻	原子核・量子線工学講座	応用原子核物理・電磁解析 量子線物理計測
	核エネルギーシステム学講座	原子力エネルギーシステム 原子炉物理及び核融合理工学
	エネルギー物質科学講座	放射線物性工学 エネルギー創生材料学
	応用物理学講座	物性物理学 応用物理学 量子計算科学
船舶海洋工学専攻	船舶海洋性能工学講座	船舶海洋流体工学 船舶海洋運動制御工学
	船舶海洋構造工学講座	構造システム工学 生産システム工学
	海洋システム設計学講座	船舶設計・海洋環境情報学 機能システム工学 海洋エネルギー資源工学
	(寄附講座) 造船中核人材育成講座 船舶海洋人材育成講座	構造動力学 システム計画学
地球資源システム工学専攻	地球工学講座	応用地質学 物理探査学 地球熱システム学
	資源システム工学講座	資源開発工学 岩盤・開発機械システム工学 資源処理・環境修復工学
	エネルギー資源工学講座	エネルギー資源工学
共同資源工学専攻	国際戦略資源工学講座	
土木工学専攻	構造および地震工学講座	構造解析学 地震工学
	建設設計材料工学講座	建設設計工学 建設材料システム工学
	地盤学講座	地盤工学 地圏環境システム工学 防災地盤工学
	都市システム学講座	都市・交通工学 国土政策・防災学 景観学
	水圏持続学講座	環境流体力学 流域システム工学 沿岸海洋工学 生態工学
	水・資源循環システム学講座	都市環境工学 資源循環・廃棄物工学 水圏環境工学

部門・専攻外組織

大学院工学研究院 (部門に属さない)		大学院工学府 (専攻に属さない)	
(連携講座) 理研連携講座		エネルギー国際教育講座 (連携講座) 理研連携講座	

教職員数・学生数

教職員数

令和3年5月1日現在

教員											職員						合計	
教授		准教授		講師		助教		准助教		小計		事務系職員		技術系職員		小計		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		女
98	4	83	6	0	0	87	8	0	0	268	18	37	78	79	7	116		85

非常勤職員	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	その他	合計
	1	3	0	23	166	193

学生数

[工学府]

令和3年5月1日現在

専攻名	修士課程				博士後期課程			
	定員	現 員		合計	定員	現 員		合計
		1年次	2年次			1年次	2年次	
材料工学専攻	43	47 (2)	— (2)	47 (2)	10	8 (2)	— (2)	8 (2)
応用化学専攻	68	77 (1)	— (1)	77 (1)	18	18 (10)	— (10)	18 (10)
化学工学専攻	30	35 (4)	— (4)	35 (4)	8	1 (1)	— (1)	1 (1)
機械工学専攻	73	90 (17)	86 (7)	176 (24)	16	11 (7)	16 (9)	20 (6)
水素エネルギーシステム専攻	35	34 (1)	33 (1)	67 (2)	9	7 (4)	12 (7)	8 (4)
航空宇宙工学専攻	30	35 (2)	46 (6)	81 (8)	10	3 (1)	8 (4)	7 (2)
量子物理工学専攻	30	23	—	23	10	3	—	3
船舶海洋工学専攻	25	28 (1)	— (1)	28 (1)	8	3	—	3
地球資源システム工学専攻	20	22 (4)	29 (10)	51 (14)	8	8 (6)	17 (15)	20 (17)
共同資源工学専攻	※20 10	14 (4)	17 (7)	31 (11)	—	—	—	—
土木工学専攻	52	65 (12)	— (12)	65 (12)	16	20 (14)	— (14)	20 (14)
(物質創造工学専攻)	—	1 (1)	47 (3)	48 (4)	—	6 (5)	13 (7)	25 (12)
(物質プロセス工学専攻)	—	—	35 (1)	35 (1)	—	—	5 (3)	10 (3)
(材料物性工学専攻)	—	—	30 (2)	30 (2)	—	1 (1)	9 (4)	10 (3)
(化学システム工学専攻)	—	1 (1)	52 (6)	53 (7)	—	2 (2)	12 (7)	15 (6)
(建設システム工学専攻)	—	2 (2)	33 (6)	35 (8)	—	8 (6)	6 (2)	15 (9)
(都市環境システム工学専攻)	—	2 (2)	41 (10)	43 (12)	—	1 (8)	11 (6)	21 (6)
(海洋システム工学専攻)	—	—	28	28	—	4 (1)	5 (1)	10 (4)
(エネルギー量子工学専攻)	—	—	32 (1)	32 (1)	—	1 (1)	6 (2)	8 (3)
合 計	※426 416	476 (53)	509 (60)	985 (113)	113	105 (61)	120 (69)	169 (75)

()を付した専攻は、学府の改組により、学生募集を停止したものである。
現員の()を付したものは、留学生数で内数。
※本学及び北海道大学の総計

留学生の国別内訳

国名等	人数	
	工学府	工学部
アジア	インド	9
	インドネシア	35
	ウズベキスタン	3
	韓国	26
	カンボジア	5
	スリランカ	3
	タイ	2
	香港	1
	台湾	3
	中国	179
	パキスタン	2
	バングラデシュ	18
フィリピン	1	1
	ベトナム	6

国名等	人数	
	工学府	工学部
アジア	マレーシア	6
	ミャンマー	3
	モンゴル	4
	カザフスタン	1
	ラオス	1
中東	トルコ	1
	アフガニスタン・イラム共和国	2
	イラク	1
	イラン	3
	パレスチナ	1
ヨーロッパ	イタリア	1
	ロシア	1
	ウガンダ	1
アフリカ	エジプト	5

国名等	人数	
	工学府	工学部
アフリカ	エチオピア	3
	ケニア	13
	ジブチ共和国	2
	タンザニア	1
	ナイジェリア	1
	ブルキナファソ	1
	マダガスカル共和国	1
	ボツワナ共和国	5
	マラウイ	2
	モロッコ	1
	モーリタニア共和国	1
	モザンビーク	2
ガボン	1	
	アルジェリア	1

国名等	人数	
	工学府	工学部
アフリカ	ルワンダ	1
	カナダ	1
	米国	1
	ペルー	1
	エクアドル	1
南米	グアテマラ	1
	トリニダード・トバゴ共和国	1
	ニカラグア	1
	パプアニューギニア	1
	フィジー	1
	ブラジル	1
	メキシコ	1
	合 計	365

令和3年5月1日現在

学位授与状況・進路状況

学位授与状況 (博士)

令和2年度

専攻名	物質創造工学	物質プロセス工学	材料物性工学	化学システム工学	建設システム工学	都市環境システム工学	海洋システム工学	地球資源システム工学	エネルギー量子工学	機械工学	水素エネルギーシステム	航空宇宙工学
課程博士	21	7	8	11	13	8	2	13	3	18	10	4
内訳	社会人	2	2	1	3	4	2	1	2	0	2	2
	留学生	9	2	3	6	8	4	0	11	9	6	1
論文博士	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

卒業生・修了生の進路状況

令和2年度

	進学	就職	その他	合計
学部卒業生	692	103	32	827
修士課程修了者	48	416	23	487
博士後期課程修了者	1	108	27	136

就職先業種別内訳

令和2年度

業種	学部卒業生	修士課程修了者	博士後期課程修了者
鉱業・採石業・砂利採取業	0	8	1
建設業	22	32	5
製造業	17	265	45
電気・ガス・熱供給・水道業	2	25	2
情報通信業	20	25	0
運輸業・郵便業	5	12	0
卸売業・小売業	4	5	0
金融業・保険業	1	8	0
不動産業・物品賃貸業	1	0	0
学術研究・専門・技術サービス業	6	17	16
生活関連・娯楽サービス業	0	1	0
教育・学習支援業	1	0	32
医療・福祉	0	0	2
複合サービス事業	2	3	0
サービス業	3	3	0
公務	17	8	1
上記以外の業種	2	4	4
合 計	103	416	108



キャンパスを歩く学生たち



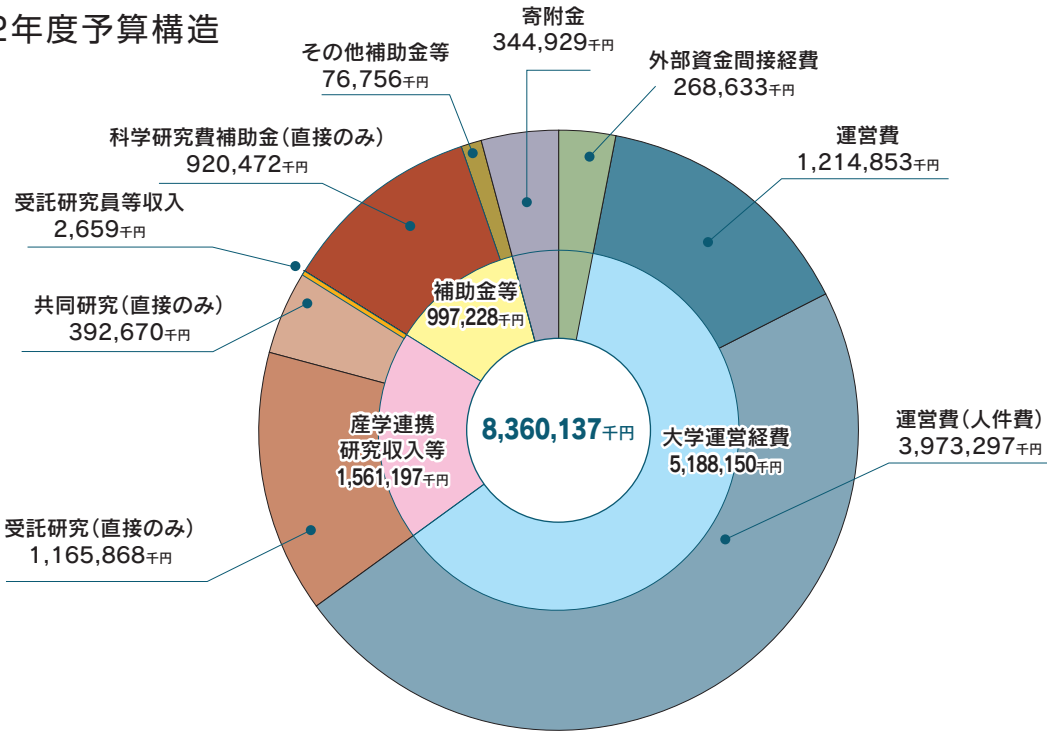
ビッグドラ(食堂)

部局間交流協定

令和3年5月1日現在

国名等		大学名	締結年月日（学術）	締結年月日（学生）
アジア	インド	インド工科大学グアハティ	2018. 10. 1	
		インド工科大学デリー校	2020. 7. 1	2020. 7. 1
		インド工科大学マンディ校	2020. 12. 1	2020. 12. 1
	インドネシア	ハサヌティン大学工学部	2008. 12. 2	2008. 12. 2
			2018. 12. 2（更新）	2018. 12. 2（更新）
		バジャジャラン大学地質学部	2009. 7. 23	2009. 7. 23
			2019. 7. 23（更新）	2019. 7. 23（更新）
		ティボネゴロ大学工学部および数理学部、及び大学院	2009. 8. 8	2009. 8. 8
	韓国		2019. 8. 8（改定）	2019. 8. 8（改定）
		ポゴール農科大学	2008. 2. 26	2008. 2. 26
			2018. 2. 26（更新）	2018. 2. 26（更新）
	カンボジア	セベラスマレット大学工学部	2017. 4. 12	
		世宗（セジョン）大学校	2010. 8. 17	2010. 8. 17
	タイ		2015. 8. 17（改定）	2015. 8. 17（改定）
		蔚山科学技術大学校 機械・航空・原子力工学部及び理学部	2019. 3. 25	2019. 3. 25
		スラナリー工科大学理学部、工学部	2012. 7. 18	2012. 7. 18
	台湾		2017. 7. 18（改定）	2017. 7. 18（改定）
		チェンマイ大学 分析理工学イノベーションセンター、工学部および理学部	2010. 2. 19	2010. 2. 19
			2020. 2. 19（更新）	2020. 2. 19（更新）
	中国	キングモック工科大学 トンブリ校 工学部	2015. 9. 25	2015. 9. 25
			2019. 6. 19	2019. 6. 19
		キングモック工科大学 ラートクラバン校 工学部	2020. 2. 19	2020. 2. 19
	中国	国立台北科技大学工学院		2019. 8. 1
		国立中興大学 理学部	2019. 7. 1	2019. 7. 1
		逢甲大学理工学部	2019. 7. 1	2019. 7. 1
		西安建築科技大学	1982. 7. 16	2012. 1. 18
			2017. 1. 18（更新）	2017. 1. 18（更新）
	中国	大連理工大学		2012. 12. 26
				2017. 12. 26（更新）
		武漢理工大学	2021. 3. 15	2021. 3. 15
	中国	北京科技大学	1997. 11. 27	2011. 8. 25
			2016. 8. 25（更新）	2016. 8. 25（更新）
		中国地質大学地球科学府地球科学学院	2018. 11. 29	2018. 11. 29
	バングラデシュ	バングラデシュ工科大学 建築・計画学部、土木工学部	2018. 12. 1	2018. 12. 1
	ベトナム	ハノイ鉱山・地質大学	2011. 3. 7	2011. 3. 7
			2016. 3. 7（更新）	2016. 3. 7（更新）
		ホーチミン市校工科大学情報科学工学部、化学工学部、機械工学部、電気・電子工学部、土木工学部、応用科学部、環境自然資源工学部、地質・石油工学部、交通学部及び材料工学部	2011. 3. 31	2011. 3. 31
	マレーシア		2019. 2. 1（更新）	2019. 2. 1（更新）
		マレーシア工科大学	2016. 5. 27	
			2010. 5. 31	2010. 5. 31
	マレーシア		2015. 5. 31（更新）	2015. 5. 31（更新）
		ペトロナス工科大学	2016. 7. 1	
		マラ工科大学	2019. 1. 1	2019. 1. 1
	マレーシア		2011. 11. 11	2011. 11. 11
		マレーシア科学大学 物質・鉱物資源工学部	2019. 11. 22（更新）	2019. 11. 22（更新）
ヨーロッパ	モンゴル	モンゴル科学アカデミー 植物研究所	2009. 9. 21	
	イギリス		2019. 9. 21（更新）	
		ケンブリッジ大学材料科学科	2014. 2. 4	
			2017. 2. 4（更新）	
	ウズベキスタン	タシケント灌漑・土地改良研究機関 灌漑・水問題研究所	2013. 1. 31	
			2018. 1. 31（改定）	
	スウェーデン	ルンド大学工学部	1993. 5. 25	1993. 8. 26
			2019. 6. 24（更新）	2019. 6. 24（更新）
		リンシェーピング大学理工学部	2010. 8. 20	2010. 8. 20
	チェコ		2020. 8. 20（改定）	2020. 8. 20（改定）
		オストラバ工科大学	2008. 5. 16	2008. 5. 16
			2018. 5. 16（更新）	2018. 5. 16（更新）
	ドイツ	ドイツ人工知能研究所		
			2012. 7. 31	2015. 3. 31
		カイザースラウテルン工科大学	2017. 7. 31（改定）	2017. 7. 31（改定）
	ノルウェー	ゲオルグ・アグリコラ工科大学	2019. 6. 30	2019. 6. 30
		ノルウェー科学技術大学 自然科学部及び工学部	2019. 10. 1	2019. 10. 1
	フィンランド	フィンランド地質調査所	2009. 12. 24	
			2014. 12. 23（改定）	
		アールト大学 工学部	2018. 12. 1	2018. 12. 1
	フランス	クレルモン・オーヴェルニュ国立理工大学	2021. 4. 1	2021. 4. 1
		国立トゥールーズ電気電子情報流体通信工学院	2006. 9. 29	2006. 9. 29
			2017. 6. 16（改定）	2017. 6. 16（改定）
		国立応用科学院リヨン校	2007. 10. 26	2007. 10. 26
	フランス		2017. 10. 26（改定）	2017. 10. 26（改定）
		パリ国立高等鉱業学校	2011. 8. 26	2011. 8. 26
			2018. 7. 1（更新）	2018. 7. 1（更新）
	ベルギー	ヘント大学（バイオサイエンス工学部、芸術・哲学部、工学・建築学部）	2012. 2. 16	2012. 2. 16
			2017. 2. 16（改定）	2017. 2. 16（改定）
	ポーランド	クラクフ工業大学	2019. 10. 1	2019. 10. 1
アフリカ	アルジェリア	ホウアリ・ブーメディエン理工大学 地球科学地理学地域マネジメント学部	2010. 12. 10	2010. 12. 10
			2015. 12. 10（改定）	2015. 12. 10（改定）
	エジプト	マンスーラ大学工学部	2010. 12. 30	2010. 12. 30
			2015. 12. 30（改定）	2015. 12. 30（改定）
北米	ザンビア	ザンビア大学鉱山学部	2006. 8. 10	2006. 8. 10
			2018. 12. 1（更新）	2018. 12. 1（更新）
	マラウイ	マラウイ大学	2019. 12. 1	
	アメリカ	テキサスA & M大学 建築学部	2017. 8. 1	2017. 8. 1
オセアニア	カナダ	コロラド鉱山大学	2018. 8. 29	2018. 8. 29
		マツギル大学工学部	1986. 3. 24	
	オーストラリア	ロイヤルメルボルン大学 工学部および理学部	2019. 9. 1	2019. 9. 1

令和2年度予算構造



科学研究費補助金

令和2年度

種目	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	1	49,200	12,960
新学術領域研究	16	96,600	28,980
学術変革領域研究A	2	22,700	6,810
基盤研究S	5	44,060	13,218
基盤研究A	29	182,378	52,830
基盤研究B	88	298,301	86,976
基盤研究C	66	53,000	15,900
挑戦的研究(開拓)	3	9,400	2,070
挑戦的研究(萌芽)	21	40,700	12,210
研究活動スタート支援	9	9,466	2,840
若手研究A	1	2,700	810
若手研究	20	28,300	8,490
特別研究員奨励費	37	36,300	1,680
特別研究員奨励費(外国人)	9	8,329	0
国際共同研究加速基金	10	33,824	10,147
研究成果公開促進費	1	4,200	0
特別研究促進費	2	1,015	305
計	320	920,472	256,225

産学連携研究収入

令和2年度

区分	件数	直接経費(千円) 直接経費のみを計上
受託研究(直接経費のみ)	132	1,165,868
共同研究(直接経費のみ)	191	392,670
計	323	1,558,538

寄附金収入

令和2年度

区分	件数	金額(千円)
受入総数	266	344,929

その他補助金等

令和2年度

区分	件数	直接経費(千円) 直接経費のみを計上
受入総数	22	76,756



Green House



日本一の大水晶



フーコーの振り子



昭和49.4 学部附属分析機器センター設置

九州大学 大学院工学研究院・大学院工学府・工学部 概要 2021 12

ITO CAMPUS MAP



KYUSHU UNIVERSITY

伊都キャンパス：〒819-0395 福岡市西区元岡744

WEST ZONE ウェストゾーン

- アーチェリー場
- 野球場
- 陸上競技場
- 弓道場
- 松濤錬成場
- 課外活動施設Ⅱ
- 小体育館
- 加速器・ビーム応用科学センター(CE70)
- 船舶海洋性能工学実験棟(EN80)
- 先進航空宇宙工学実験棟(EN70)
- 衛星通信実験棟(IE20)
- アグリ・バイオ研究施設(AG40)
- パブリック3号館(CF3)
- 事務支援センター(検収センター)
- 次世代エネルギー実証施設(FE)
- テニスコート
- 生物多様性保全ゾーン
- 生物環境利用推進センター(AG10)
- 水環境実験棟・森林保全実験棟(AG11)
- カイコバイオリソース研究施設(AG22)
- 植物園施設
- 九大あかでみっくらんたん(食堂)
- 工学系実験施設群
- 工学系総合研究棟(コラボ・スペース)
- 鉄鋼リサーチセンター(EN40)
- 水素ステーション(HY40)

- 水素エネルギー国際研究センター(HY30)
- 水素材料先端科学研究センター(HY10)
- ウェスト5号館
- アグリダイニング(食堂・売店・書店)
- ウェスト4号館(2階/就職情報室・就職相談室)
- ウェスト3号館
- キャンパスライフ・健康支援センター伊都ウェストゾーン分室(健康相談室、学生相談室)
- ウェスト2号館(売店・書店)
- ウェスト1号館
- ビッグどら(食堂・売店・書店)
- 西講義棟、E-café(喫茶)
- 石のアート QIAO(チャオ)
- 総合学習プラザ
- ビッグリーフ(食堂・喫茶・売店)
- 理系図書館、Libca(喫茶)
- 情報基盤研究開発センター棟
- 低温センター(伊都地区センター)(CE60.61)
- 超伝導システム科学研究センター
- 先進電気推進飛行体研究センター(CE50.51)
- 先端物質化学研究所(CE41)
- 附属環境工学研究教育センター(CE40)
- アイソトープ総合センター伊都地区実験室(CE31)
- 超高压電子顕微鏡棟(超顕微解析研究センター)(CE20.21)

- パブリック1号館(CF1)
- 国際宇宙天気科学・教育センター(CE10)
- 稲盛財団記念館(稲盛フロンティア研究センター)
- 寿司・和食 ダイニング KIHACHI(食堂)
- エネルギーセンター
- パブリック4号館(CF4)
- 韓国研究センター
- エコセンター
- パブリック2号館(CF2)
- 童夢カフェ(喫茶)
- キャンパス・コモン

CENTER ZONE センターゾーン

- 給水センター、環境安全センター
- センター5号館
- センター6号館
- 伊都診療所
- ビッグさんど(食堂・売店)
- キャンパスライフ・健康支援センター(健康相談室、学生相談室、コーディネート室)
- ビッグオレンジ(情報発信拠点・売店)
- ビッグオレンジレストラン(食堂)
- センター1号館
- キャンパスライフ・健康支援センター伊都センターゾーン分室(インクルージョン支援推進室)
- センター2号館
- 喂鳴(おうめい)天空広場、Q-Commons Qasis(食堂)
- センター3号館
- センター4号館
- 椎木講堂
- 大学本部
- ITRI・ITO(食堂)
- フジイギャラリー

- テニスコート
- 課外活動施設Ⅰ
- 総合体育館
- 多目的グラウンド
- 皎皎舎(書店・売店)
- 亭亭舎
- ドミトリイⅠ(学生寄宿舍)
- ドミトリイⅡ(学生寄宿舍)
- ドミトリイⅢ(学生寄宿舍)
- 伊都ゲストハウス
- 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館
- カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)第1研究棟
- カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)第2研究棟
- 次世代燃料電池産学連携研究センター(NEXT-FC)
- 共進化社会システムイノベーション施設

EAST ZONE イーストゾーン

- イースト1号館(売店、2階/就職情報室・就職相談室、イーストゾーン・キャンパスヘルスサポートルーム)
- L-café(喫茶)
- イースト2号館
- 大講義室Ⅰ
- 大講義室Ⅱ
- ビッグスカイ(食堂)
- 中央図書館
- 情報統括本部 iCubeサポートデスク
- 男女共同参画推進室
- 教材開発センター
- 記録資料館
- 童夢カフェ(喫茶)
- 生活支援施設(書店・売店)
- 石ヶ原古墳横穴式石室の移築展示
- 建築構造実験棟(HE10)
- 建築環境実験棟(HE20)
- AMS専攻実験棟(IS10)
- 行動実験棟(HE30)
- 総合臨床心理センター(HE40)
- 伊都協奏館(学生寄宿舍)
- 多目的グラウンド
- テニスコート
- 植物園施設

(2021年4月現在)

- 食堂等
- 駐車場
- ATM
- 売店
- 書店
- 多目的トイレ
- 車両入口
- 車両出口
- バス停
- AED

自動車入構ゲート

- 中央西ゲート
- 守衛所(一時入構手続き窓口)
- 守衛所/中央東ゲート(一時入構手続き窓口)
- 北ゲート(パスカードのみ)
- 守衛所/南ゲート(一時入構手続き窓口)
- 東ゲート(パスカードのみ)

0 100 300m

